学 校 だ よ り

令和４年９月３０日

１０月号

NO. 397

横浜市立茅ケ崎小学校

学校 http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/chigasaki/

学校教育目標　　自分らしさを創る　たくましい　ちがさきっ子

あいさつ　三話

校　長　高橋　美都子

台風が秋を運んできました。日中はまだまだ暑い日もありますが、それも爽やかな暑さに代わり、いよいよ秋本番を迎えたようです。街路樹も少しずつ色づき始め、新しい季節の始まりを教えてくれます。朝、正門で子どもたちを迎えていても、これまでの蒸し暑さの中、登校していたころと打って変わり、元気な挨拶と笑顔が返ってくるようになり、私も元気をもらっています。

連休明けから６年生が、代表委員会の活動の一環として朝、門に立ってあいさつをしています。友だち同士で声を掛け合い、日に日に人数が増えています。さすが６年生です。しっかりとした明るい声であいさつをしています。それを手本に、下学年もあいさつを返す声がぐっと増えてきました。他学年もそれぞれの場所で朝のあいさつを増やそうという活動をしています。

下校の見守りを行うため、門にいた時のことです。「校長先生は、門であいさつをしている時、恥ずかしくないですか。」と聞かれました。私も子どもの頃、あいさつをしなさいと言われ、気恥ずかしいし、何と言ってよいか分からないときがあるから困るな、と考えたことを思い出しました。「みんなの顔をみて、今日も元気だなって安心したり、何か困ったことがあるのかなって心配したり、みんなのことを考えながらあいさつをしているから恥ずかしくないですよ。」と答えました。

朝学習の時間に、教室へ行くとドリル学習に取り組んでいました。見て回ると、鉛筆の進んでいない子がいます。「お手伝いしましょうか？」と声をかけると、「この問題をやりたいです。」と返事が返ってきました。本当にわずかな時間でしたが、一緒に考え解答にまでつなげると。「ありがとうございました。」と言われ、心が温かくなり同時に励ましの言葉を伝えました。

「あいさつは心をつなぐ架け橋」です。あいさつを交わすことで、相手のことをよく知ることができたり、気にかけていることを伝えることができたりします。そして、そこから人間関係作りが始まります。「あなたのことを心にとめていますよ」という集団作りで大切なことが、あいさつにはこめられているように思います。さらに、表情が見えにくい今だからこそ、「おはようございます」「ありがとうございます」と直接交わす言葉が心に入っていくようにも思います。

前期もまもなく終わりを迎えます。今学期もご支援とご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。後期もよろしくお願いします。